

ますます
ますます
元氣

大森 正一 (26期) です

平成29年、36年間のエンジニア生活を終え愛知県の会社を退職しました。あまりボケっとしないタイプで、ひと仕事終えたのも束の間、県内の中部大学へ社会人入学したんですよ。

シニアコース(2年)から研究生になった2年目に音楽ゼミに入りました。そこで思い切ってバイオリンという未知の分野に挑戦しました。

現在、倉敷市の実家の管理に毎月1回、車で5時間かけて帰省しています。庭木の散髪をしたり結構大変なんですよ。その隙間を地元の長老に狙われ、誘われるままに令和2年7月、実家そばのカフェでミニコンサートを開きました。まだ習い始めのころです。

始めて5年目ですが、岡崎フィルハーモニック管弦楽団に入り年2回、4月と11月の定期演奏会に毎回出演しています。ここで「交響曲第3番『英雄』」(ベートーベン)、春日井市民フェスティバルではソロで「G線上のアリア」(バッハ)を弾きましたよ。「恥ずかしがらずに人前で弾くこと」という

真剣な表情でバイオリンを練習する大森正一さん＝中部大学



ゼミの先生の強引な方針でね。

おかげで腕が少し上がりました。今は毎日数時間の練習漬けですよ。バイオリンという生きがいに出合え、完全にはまりましたね(笑)。

青陵時代は背は高いほうでしたが走るのには苦手でした。だから運動会の思い出はなく、部活も「帰宅部」でしたよ(笑)。3年間塾には通わ

ず専らラジオ講座を聞いてました。安上がり、親孝行でしょう。

大阪大学大学院を修了、三菱自動車工業に入社、岡崎製作所で新車種の生産準備、生産ラインの入れ替えなど技術畑一筋のエンジニア生活でした。

華麗なる転身 エンジニアからバイオリニスト? いやいや…。(令和5年6月 談)

青陵では帰宅部、ラジオ講座

面でややゆとりができ、会社関係以外の交流を求めて「初参加した時のインタビュアでした。青陵時代は中学からしていた野球部に入部しました。主に外野手でした。ところが「合宿で嫌なことがあったんですよ。言いにくい話なんです。監督が野球部OBでね、部員いじ

帰省して近所のカフェでくつろぐ
小原康正さん＝令和5年6月24日



期)に、帰省した折、お会いして話を聞かせてもらいました。実は本紙第49号(平成29年発行)に、近畿青陵会「参加者ひとこと」コーナーに登場してもらい電話取材をした覚えがあります。「仕事

こん
にちは

小原 康正さん (33期) です

令和5年度に近畿青陵会の副会長になった小原康正さん(33期)に、

近畿青陵会へ参加、役員に

息抜きに関係者と月に1、2回、ゴルフを楽しんでいます。

前職から現在まで営業一筋の小原さんは、「冊子は製薬会社で作っていると思ってるでしょうねえ。わが社は全国でも特殊な領域の仕事だと思えます」と、貴重な話をしてくれました。

会社では医薬品を扱う専門家(MR)のいる製薬会社の意向を汲み、薬情報の資料を制作しています。冊子またはウェブサイトにまとめ医者や患者に提供します。

同志社大学経済学部を卒業後、印刷会社に入社、30代後半で現在の医療関連会社に入社しました。東京が本社の大阪支社勤務です。

青陵祭は3年生の体育祭でプロック応援団長として活躍しました。

とで退部しました。幸い、サッカー部顧問が「じゃあ、うちへ来いよ」と言ってくれて2年生で転部しました。左のサイドバックを経験しました。

めをしたんです。これはやっとなな」というこ

営業一筋 医薬情報専門誌を制作

会員ミニ一点描

(令和5～6年／現役を含む／学年・肩書は当時／記事はすべて判明分のみ)

〔受賞・受章〕倉敷市は令和5年7月、地域ボランティアへの感謝状贈呈式を行い、住民自治組織のリーダー山川元昭さん(14期)に感謝状を、同年4月の春の叙勲で元倉敷フアッションカレッジ校長山口(旧姓西野)貴子さん(10期)が瑞宝単光章を、同年10月の高齢者叙勲で元万寿小学校長有和(ありわ)克己さん(5期)が瑞宝双光章を、元福田中学校長原昭さん(5期)が瑞宝双光章を、同年10月の叙位叙勲で元高梁市立宇治高校校長高見智顕さん(10期)が従五位瑞宝小綬章を、受章直前の9月16日に死去されました。同年11月の秋の叙勲で、元産業技術総合研究所名古屋工業技術研究所セラミックス応用部長小田喜一さん(18期)が瑞宝小綬章を、同じく虫明功臣さん(12期)が瑞宝中綬章を、同年12月の高齢者叙勲で、元倉敷・赤崎小学校長五藤久嗣(ごとう・ひさし)さん(5期)が瑞宝双光章を、同6年1月の高齢者叙勲で元第四福田小学校長高橋勝さん(5期)が瑞宝双光章を、同年1月の第57回岡山県スポーツ協会表彰で、陸上の広瀬洋介先生(在職教員)が国体賞を、同年8月、青陵高の山下智也さん(1年生)は写真①が岡山県の岡山芸術文化賞ジュニア奨励賞(音楽部門・トランペット)を、前年のジュニアクラシック全日本音楽コンクール金管部門中学生の部1位が評価されました。吹奏楽部でトランペットを担当しています。音楽系への進学は考えていないそうです。倉敷市議会議員藤原(現姓鳥井)薫子さん(44期)が同年6月、中国市議会議長会表彰(在職16年以上)を。

〔就任／退任〕岡山白陵高校長大森博幸さん(27期)が令和6年5月、岡山県高校長協会副会長に就任しました。任期は1年です。岩田正晴さん(18期)が同5年9月、青陵剣友会(剣道部OB会)の第3代会長に、植田明浩さん(35期)が同6年7月、環境省自然環境局長に、しげい病院などを運営する社会医療法人創和会理事長重井文博さん(24期)は写真②が同年7月、岡山県病院協会会長に。任期は2年です。青陵時代はバドミントンでインターハイに出場しました。倉敷市副市長原孝史(たか

し)さん(28期)が同年6月、4年の任期を終え退任しました。

〔優勝・入賞〕高校生の「スポGOMI甲子園」岡山県大会が令和5年9月、岡山市で開かれ、青陵高放送部が3位に、第43回岡山県高校秋季将棋大会が同年9月、岡山市で開かれ、女子で長森朱音(あかね)さん(2年生)が3位に、競泳の日本短水路選手権が同年10月、東京で開かれ、男子50歳背泳ぎで中尾駿一さん(65期)が3位に、岡山県高校新人剣道大会が同年11月、津山市で開かれ、女子団体で青陵が準優勝、剣道の全国高校選抜大会岡山県予選が同6年1月に県内で開かれ、女子団体で青陵が準優勝、同年2月、第13回おかやま新聞コンクールの入賞発表があり、青陵高新聞部が最優秀賞に次ぐ優秀賞(岡山市教育長賞)を、同年4月、岡山陸上競技協会の2023年度優秀選手の表彰式が岡山市内であり、檀上亜里さん(73期)は立命館大が県記録章を、同4年11月、第68回青少年読書感想文岡山県コンクールの入賞者発表があり、中島菜乃さん(2年生)が優秀賞に、同5年11月、第69回同コンクールでは市橋芽さん



写真上から①②③



〔1年生〕と井上羽逢さん(同)が入選、金井咲紀さん(1年生)が佳作に、第43回高校生読書体験記コンクール岡山県選考会で三宅咲蘭さん(1年生)が入選、第54回岡山県高校将棋選手権大会が同6年5月、岡山市内で開かれ、個人戦では男子B組で栗元快さん(1年生)が優勝、女子で長森朱音さん(3年生)が準優勝しました。陸上の日本学生個人選手権が同年6月、神奈川県などで行われ、男子400mで檀上亜里さん(73期)は立命館大が3位になりました。第24回流域高校生絵画展巡回展が同年6月、早島町で開かれました。堀美里さん(当時2年生)と金子桜さん(同)のいずれも佳作作品が展示されました。同年8月、岡山県など主催の高校生薬物防止ポスター入賞作品が決まり、堀美里さん(3年生)が県保健医療部長賞に、陸上の岡山県高校選手権大会が同年9月、岡山県で開かれ、男子400mで七村颯大(そうだい)さん(1年生)が3位に。

〔クラフトビールを開発〕会社経営楠戸俊宣さん(21期)が令和

6年6月、大学教授やビール醸造所と提携、倉敷産綿花から採取した酵母でクラフトビール「クラシキコトン」は写真③を開発、初回生産分300本を発売しました。

〔閉窯〕伝統の民芸窯として多くのファンに親しまれた羽島焼の作家小河原常美さん(15期・家庭科)が令和4年11月、閉窯しました。父や姉夫婦で支えてきましたが後継者がなく、76年の歴史に幕を下ろしました。

〔寄付〕小銭和明さん(本部同窓会副会長)ら23期有志が令和5年12月、本部同窓会へ13万5769円を。同期会の運営資金の一部です。

〔訃報〕元在職教員弓削崇(令和5年1月)は2期、鴨川(吉田)恵美子(6年1月)は8期、令和元年以降、栗坂陸郎(元年5月)、大塚桂三(元年10月)、杉原弘生(2年1月)、尾川完一(2年2月)、大野悦生(2年8月)、松井孝喜(3年9月)、宇野尚雄(3年10月)、初岡実(4年1月)、鴨井昭允(5年1月)、加納正之(5年1月)、富永健一(5年8月)、兼信稔(？)、三宅(小野)純子(元年12月)、山本(大橋)駒子(2年12月)、小野(松田)信子(2年8月)、阿部(中原)ハツエ(4年5月)、東本(佐藤)恭子(4年5月)、岡田(矢部)圭代(4年12月)、井上(小田原)良恵(5年2月)、角南(守上)智美(5年3月)、後神(三宅)壽満子(？)、阪本(田中)敦子(5年1月)は令和5年11月2日の八陵会同窓会資料より(以上かつこ内は旧姓、敬称略)

〔同窓会入会式〕令和6年2月29日、今春の75期卒業生315人が入会しました。卒業生は累計3万5891人となりました。岡田本部同窓会会長が入会を歓迎、本部同窓会から全員に入会記念品の卒業証書ホルダーが贈られました。

〔お知らせ〕同窓会報を本部はじめ東京など3支部の各総会で配布していましたが、今後は配布しません。全ページを青陵高校HPに掲載していますので、そちらをご覧ください。(本部同窓会事務局)

□：写真はいずれも山陽新聞、インターネットより。

12ページ「生活」の写真つづき キッチンカーが初登場した 青陵祭の校庭＝令和6年9月	浅 越 共 子 (5期) 原 幸 子 (5期)	佐々木 みどり (5期) 高 嶋 千代子 (5期)
高橋内科医院 院長 高 橋 喜 亮 (5期) 〒712-8043 倉敷市広江6-2-3 ☎086-455-5821	仁科船舶商会(株) 仁 科 喜佐男 (5期) 〒712-8071 倉敷市水島海岸通2-1-10 ☎086-448-0522	高野山真言宗 多 聞 寺 橋 本 明 禅 橋 本 昌 子 (5期) 〒714-1201 小田郡矢掛町矢掛2056 ☎0866-82-0629
武部不動産 (福山) 武 部 洋 治 (15期) 事務所 福山市本町4-13 ☎084-925-2222	愛車のメンテナンスなら当店に お任せください。お車の査定も お気軽にお申しつけください。 廣 瀬 成 史 (15期) 里庄店 水島店 笠沖店 倉敷店 野田店 岡南店 高屋店	(有)ダスキン驚羽 藤 雅 子 (15期) 倉敷市新田2987-8 ☎086-422-1335
倉敷名物 登録商標 元祖むらすめ ひとつひとつ真心こめた手づくり、 「倉敷名物むらすめ」を お土産にどうぞ。 本店 倉敷市本町二丁目一五九番地 ☎086-425-1111 http://kikodoc.com/ 橘香堂 御菓子処 「むらすめ」は橘香堂の登録商標です。 類似商標にご注意下さい。 吉本 豪之(15期)	学生服の カネマツ 松 田 健 一 (15期) 倉敷市昭和2丁目1-48 ☎086-425-3322	二ツボンの窓をよくしたい MA DO ショップ YKK・APアルミ建材 (株)きび窓業 サッシ・ガラス・シャッター・テラス カーポート・外柵工事一式・システムキッチン ユニットバス・洗面ユニット 大 森 健 作 (15期) 総社市宿1205-4 TEL 0866-92-0738 FAX 0866-92-3988
	くらしき 窯 南イタリア料理 はしまや 楠 戸 攸一郎 (16期) Tel & Fax 086-697-5767	ワインショップしんじ 眞 治 憲 之 (16期) 倉敷市昭和2-3-41 ☎086-422-1813

(有)阪本鶏卵 阪本 安 弘 (16期) 〒712-8055 倉敷市南畝3丁目13-31 TEL 086-455-7370	な ん ば 人 形 難 波 稔 (16期) 倉敷市寿町9-7 ☎086-421-9650	(有)三宅写真館 三 宅 邦 和 (16期) 倉敷市東町 市民会館北 ☎086-422-0180
快適な社会環境を！ 日本インフラマネジメント株式会社 建設コンサルタント 村上友裕(20期) 山崎和彦(21期) 中野明彦(21期) 岡山市北区田益1388-7 Tel 086-294-5660	(公財)日本いけばな芸術協会特別会員 華道専敬流教授 小 野 和 代 (25期) 〒701-0105 倉敷市矢部165 TEL・FAX 086-462-5910 携帯 090-7128-5962	一般社団法人 日本塗装工業会会員 松岡塗装株式会社 相談役 中 田 龍 伍 (25期) 〒713-8103 倉敷市玉島乙島6695-1 ☎086-522-0968 FAX.086-526-0229
有限会社 廣畑不動産鑑定事務所 不動産鑑定士 所 長 廣 畑 寛 治 (25期) 〒700-0914 岡山市北区鹿田町1-4-8 沓番館1503 ☎086-234-3710 FAX.086-226-2260	就実大学副学長 見 尾 光 庸 (25期) (薬学部教授)	建設資材各種販売 森 定 石 材 森 定 祐 子 (25期) 倉敷市連島町連島1010 TEL&FAX.086-444-8495
同窓会25期評議員 田 中 利 夫 見 尾 光 庸 河 田 隆 子	倉敷青陵高等学校同窓会 会 長 岡 田 展 弘 (25期) 副 会 長 金 谷 修 男 (25期) 会計監査 森 定 祐 子 (25期)	Only One Planners ～想いをみらいへ～  株式会社 山陽設計 中 田 賢 二 (27期) 岡山市中区清水2-5-22 Tel 086-271-7011(代)
株式会社 クラカン 代表取締役 高橋ゆうこ (34期) 倉敷市二日市322-3 Tel 086-422-1000	玉島精機株式会社 代表取締役 徳田政太郎 (35期) 倉敷市玉島長尾254-8	小・中学・高校生対象 学習・進学塾 アスク学院 代表 三 吉 俊 郎 (36期) 〒719-0301 岡山県浅口市郡里庄町里見3647-1 TEL&FAX:0865-64-1103 URL https://r.goope.jp/asukugakuin E-mail asknet@mx1.kcv.ne.jp
倉敷生坂簡易郵便局 局長 貝 原 基 生 (36期) 倉敷市生坂249 086-462-5054	 積水ハウス株式会社 岡山支店 藏 重 忠 昭 (36期) 直通 080-1636-2465 〒700-0975 岡山市北区今2丁目9番8号 E-mail: kurashige001@sekisuihouse.co.jp 住宅のみならず、ホテル、流通店舗、医療、介護、福祉施設等なんでもご相談ください。	CONSENTABLE  代表 梶 谷 拓 生 (36期) info@consentable.com
古 米 里 美 (36期) COTTONS 〒710-0055 倉敷市阿知2-17-27 2F TEL 086-421-5077 【定休日】水曜日と時々	秋田税理士法人 統括代表社員 秋 田 修 一 (36期) https://akitazeiri.jp/	総合建設業 各種プラント機器設計製作 創ります・つくります・造りますー快適への道  株式会社 ナйкаイアーキット 本社:倉敷市児島駅前1丁目100 Tel 086-472-5957(代) http://www.naikai-archit.jp
【近畿青陵会会長】 大阪大学名誉教授 (レーザー科学研究所) 白 神 宏 之 (26期) shiragahiroyuki@gmail.com	【近畿青陵会副会長】 (株)ファーマインターナショナル 大阪支社営業本部第一営業部 部長 小 原 康 正 (33期) 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-9-1 TEL 06-6225-5095	【近畿青陵会 常任幹事(会計担当)】 大 月 修 (19期) 〒670-0955 姫路市安田4-165-1-704 TEL 079-225-8030
法人設立・譲渡・相続税の申告相談 梶谷孝行税理士事務所 税理士 梶 谷 孝 行 (21期) 〒169-0074 東京都新宿区北新宿3-22-10 パイロットハウス北新宿236号 TEL 03-3364-2411 FAX 03-3364-2410	 〒150-0044 渋谷区円山町25-7 PHONE/03-5458-5566 E-mail: melrose@aioros.ocn.ne.jp 寺 山 一 己 (23期)	東京青陵会会長 高 橋 祥 二 (28期) 〒250-0854 神奈川県小田原市飯岡227-1 TEL 090-7223-5835 E-mail: shoji.takahashi0@nifty.com
株式会社 JVCケンウッド 無線システム事業部 品質保証部 中 村 弘 (29期) 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2 TEL 045-939-7038 FAX 045-939-7096 E-mail: nakamura.hiroshi@jvckenwood.com	 河 崎 孝 夫 (30期) 惣's BAR 〒106-0032 東京都港区六本木7-4-8 TKGビル203 TEL 03-3408-6837 rallytk@aol.com	東京青陵会事務局長 東京倉敷ふるさと会副会長 株式会社 プロ家庭教師さいたま C E O 日 岡 秀 和 (30期) 〈会社〉 〒331-0812 さいたま市北区宮原町2-51-40 TEL 048-654-0506 FAX 048-654-0569 E-mail: hioka@pt-saitama.com



八陵会（8期）
同窓会

長～い交流 米寿控えた49人

令和5年11月2日に倉敷アイビースクエアで開きました。5年ぶりに東は群馬県、西は佐賀県などから米寿を控えた49人が集いました。写真撮影の後、全員が簡単に自己紹介、デザートタイム(コーヒーとケーキ)を挟み2時

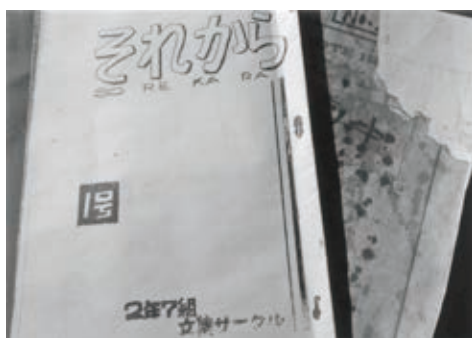
49人 間以上愉快に歓談、最後に「高校三年生」や校歌を全員で合唱しました。還暦は小豆島へ宿泊、古希、喜寿ともに100人以上、傘寿も77人の参加があり、東京、関西、九州グループの同期会も合わせて活発な交流が続いています。みんな、元気ですよ！
(遠藤堯之)



16期2年7組喜寿同窓会

令和5年11月20日に倉敷アイビースクエアで開きました。開催時期は幹事の気まぐれ笑いますが、今回は喜寿の節目です。東京の5人を含む21人が東は茨城、北は松江から集いました。この日のために隠し玉を用意してみんなを驚かせました。それ

60年前のクラスノートと文集出現



文集成現

は60年前のクラスノートと文集の2冊です。コピーして全員に配りました。授業やテストの不満、早弁、恋愛や青春の悩みなどを、まじめに、または殴り書きで思い思いに書いています。このクラス「不美男子あり、ツイホウすべし」、「美人無シ、組み替えすべし」という失礼で物騒な？セクハラコメントもあります。言いたい放題、まあ、絆の深い愉快的仲間の証拠品ですよ。

(若林||旧姓森岡||圭子)

2025年の予定

本部総会

8月3日(日) 午前10時から
倉敷アイビースクエアのエメ
ラルドホール
〈当番幹事 7と8のつく期〉

東京青陵会

6月7日(土) 午後1時から
東京・ルポール麹町

近畿青陵会

5月25日(日)正午から
シェラトン都ホテル大阪
〈担当幹事 27期、28期〉

九州青陵会

11月8日(土)午後1時から
ソラリア西鉄ホテル福岡

編集を終えて

◎…剣道部や競技かるた部など、どの部活も目覚ましい活躍をしています。が、久々に野球部の`季節、でもありました。投打のバランスが良く、春の大会で快進撃、夏の大会に期待しましたが残念ながら上位進出はなりませんでした。

●…たまたま別件取材で話を聞いたのが野球部第1期黄金期の仕掛け人・菊地宏尚さん(12期)でした。後輩のエースを軸に強豪校と渡り合ったのです。

●◎…これまた偶然ですが、高校野球の監督をして甲子園に出場した小橋洋さん(10期)の半生記を読みました。青陵OBに甲子園組がいたのは驚きでした。知られざる快挙です。

岡山県立倉敷青陵高等学校「同窓会だより 青陵」第56号

発行 岡山県立倉敷青陵高等学校同窓会
[事務局] 〒710-0043 倉敷市羽島1046-2 TEL:086-422-8001 FAX:086-422-8004
e-mail:seiry05@pref.okayama.jp URL: <http://www.seiry0.okayama-c.ed.jp>

発行人 岡田展弘(25期)／編集委員 今岡道雄(13期) 佐藤豊行(18期) 林俊輔(28期)
顧問 加川英郎(4期)／表紙揮毫 澤田虚遊(21期)

印刷 株式会社サトラ 〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172

お願い 同窓生の情報や同期会、話題を佐藤豊行(編集主幹090-6438-9227)、林俊輔(青陵高校講師、同窓会担当)へお寄せください。

＊原稿締め切りは毎年9月20日です。編集、校正作業を経て12月末に全卒業生にお届けします。

＊幹事の当番期に拘わらず、広告掲載をお願いしています。1枠50000円です。

早大研究員・原武治さん(14期) 機関誌『高梁川』に寄稿

スペイン風邪とは
大正7(1918)年から同9(1920)年にかけて世界的に流行したインフルエンザの一種。日本でも猛威を振るい人口の約40%が感染、約45万人(今回のコロナ禍約6万人)が死亡した。人流の多い貿易港の神戸や観光都市京都などで多くの感染者が出た。

患者は早くも11月には岡山市内だけでも3万人近くに急増、12月には都窪郡の小学校はことごとく休校に追い込まれました。死者数も増え、同8年11月の1カ月間だけで5595人に上ります。

同7年10月8日付で「岡山師団第一七大隊の上等兵が発熱、隔離病舎に収容された」とあり、これが岡山県における流行性感冒(のちスペイン風邪)の初報でした。欧米からの感染がパンデミック(世界的大流行)となり、日本は第二波、第三波の波をかぶったのです。

「100年前のスペイン・インフルエンザ」岡山県の感染状況と大原孫三郎の先見性」と題して16ページにまとめています。時宜を得た論文が注目され、新聞でも大きく報道されました。論文は約100年前の大正7(1918)年に始まったスペイン・インフルエンザ(スペイン風邪)について、主に当時の「山陽新報」(山陽新聞の前身)の記事を丹念に分析して構成しています。

コロナ禍タイムリーな論文



新聞で報道された原武治さんの『高梁川』(第80号)掲載の記事(顔写真は原さん)

能人の急逝を思い出します。皇室も聖域ではありません。東宮殿下(のちの昭和天皇)も罹患し「12日間静養した」とあります。

世界は第一次世界大戦の最中でした。特にドイツ軍に患者が多く120万人に及び士気が低下、退却を余儀なくされました。スペイン風邪の猛威が大戦終結を早めたといわれています。

新聞記事分析「歴史に学べ」

性を改めて認識した」と結んでいます。

□…本稿は原武治さんの論文と、令和5年1月31日付山陽新聞を参考にしました。

「略歴」はら・たけじ 倉敷町長で実業家の原澄治の孫。早稲田大学商学部を卒業後、倉敷紡績に勤務。同大学大学院商学研究科非常勤講師、同大学校友会岡山県支部長などを務める。機関誌『高梁川』第69号に「早稲田大学と大原孫三郎・原澄治」を掲載済み。

コロナ禍や ああコロナ過や いざコロナ過や (16期 男性作)

ました。同9年1月には県内の患者数5000人、「特に都窪、浅口郡が一番高率」とあります。今回のコロナ禍と同じような感染スピードです。

この間、国内外に当然大きな影響が出ました。国内では劇作家島村抱月が急性肺炎を起こし、わずか1日足らずで急死しました。今回のコメディアン志村けんさんら芸

倉敷では倉敷紡績の社長に就任した大原孫三郎が倉紡(のち倉敷)中央病院の設立を計画しました。工場の医局を拡大、病院にする計画です。世界的なスペイン風邪の流行を見た孫三郎は素早く対応、感染症の医療体制に力点を置いた総合病院を目指しました。

孫三郎は後世、再び感染症が大流行すると見込んだのです。予見通り100年後の令和時代にコロナ禍が起き、感染症治療に大いに貢献しています。「まるでパンデミックを予測していたかのように見える」と筆者は驚いています。

筆者はスペイン風邪と今回のコロナ禍を踏まえ、冒頭で「日本人はスペイン風邪の災禍からほとんど何も学んでいない」と指摘しました。今回、政府のコロナ対策が後手に回り、ワクチン開発が海外に比べて圧倒的に遅れたのがその証拠です。

最後に「我々人類、日本人が遭遇した過去の歴史を検証し、歴史に学び将来に備えることの重要性を改めて認識した」と結んでいます。

機関誌『高梁川』に最近投稿した青陵関係者は次の通りです。(判明分のみ、かっこ内卒業期、敬称略)

[第81号]原武治(14期)「大原孫三郎・原澄治にみる経営者の役割」／遠藤堯之(8期)「植木のまち金光・杜陵渡辺豊治と牧野富太郎」／原圭一郎(5期)「大隈重信公演説」[第80号]佐藤豊行(18期)「おかやま初発物尽くし(連

載中)」[第79号]中山薫(元在職教員)「菅茶山『黄葉夕陽邸舎詩』序文について」／井上久仁子(6期)「知られざる名所向山の森林浴コンサート」／高橋義雄(12期)「日本近代社会を創造した渋沢栄一」／こはらだひとみ(小原眸)=54期=漫画連載中